



2022年11月14日

各位

会社名 ワシントンホテル株式会社
代表者名 代表取締役社長 内田 和男
(コード番号:4691 東証スタンダード市場、名証メイン市場)
問合せ先 取締役経理財務部部长 森 良一
(TEL. 052-745-9036)

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2022年5月13日に公表した2023年3月期の通期業績予想及び配当予想につきまして、下記のとおり修正することを決議しましたのでお知らせいたします。

記

1. 個別業績予想の修正について

(1) 2023年3月期 通期個別業績予想数値の修正 (2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 14,336	百万円 △312	百万円 △761	百万円 △794	円 銭 △65.92
今回修正予想 (B)	16,166	1,796	1,524	1,667	138.31
増減額 (B-A)	1,829	2,109	2,286	2,461	—
増減率 (%)	12.8	—	—	—	—
(参考) 前期実績 (2022年3月期)	8,547	△3,243	△3,108	△3,261	△270.50

(2) 修正の理由

(売上面)

今期上期においては、緊急事態宣言などの行動制限がなく、一部地域での県民割等の需要喚起策やスポーツ大会、コンサートなどのイベントも動き出したことにより、国内宿泊需要は徐々に回復してまいりました。加えて、10月から12月中旬までの全国旅行支援や、インバウンド受け入れ要件の緩和が決定され、今後の宿泊増加が期待される状況となっております。また、コロナ療養施設としての一棟貸し期間が当初想定より延長となったことにより、12月までは業績が底上げされることとなります(一棟貸しの当初想定は6月末までが、10ホテルは12月末、2ホテルは3月末までとなる見込み)。

ただし、一棟貸し終了から通常営業に切り替える時点においては、顧客が戻るまで一定の期間を要するものと想定しております。

(利益面)

現在、コロナ後を見据えて、名古屋栄ワシントンホテルプラザとR&Bホテル上野広小路の大規模リニューアル工事を、営業継続をしながら実施中であり（2023年2月末終了予定）、それらの費用は今期下期に計上する予定となっております。また、エネルギー価格高騰による光熱費や、リネン洗濯代、人手不足に伴う人件費や客室清掃費等の増加による利益下押し要因もありますが、全体としては宿泊需要が上向いていること及び一棟貸し延長による収入増加影響が大きく、当初予想から上方修正するものです。

2. 配当予想の修正について

(1) 配当予想の修正の内容

	年 間 配 当 金		
	第2四半期	期末	合計
前回発表予想	円 銭	円 銭	円 銭
		—	—
今回修正予想		0.00	0.00
当期実績	0.00		
前期実績 (2022年3月期)	0.00	0.00	0.00

(2) 修正の理由

当社の剰余金の配当については、各事業年度の業績を勘案し、既存事業所の設備改修のほか、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ配当性向は25%を目安とした安定的かつ継続的な配当を行うことを目標にすることを基本方針としております。

しかしながら、業績予想の修正に記載の通り、今期は利益を計上できる見通しではあるものの、この利益は一棟貸しにて支えられている部分が大きく、一棟貸しが終了して通常営業に切り替わった際の業績は依然として不透明であります。また、当社は前期、前々期と2期連続で多額の純損失を計上しており、財務基盤を大幅に棄損した関係上、取引金融機関に2024年2月までの借入元本の返済を猶予いただいている状況であります。

その中で、今後の事業活動を安定かつ成長させていくための設備投資、並びにエネルギーコストや人件費高騰への対応等を総合的に勘案し、前回発表時には未定としておりました当期の期末配当予想につきましては、誠に遺憾ではございますが無配とさせていただきます。

株主の皆様には深くお詫び申し上げますとともに、可能な限り早期に復配できるよう努めてまいりますので、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

(注) 本資料に記載されている業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上